

◆ 「実験住宅!？」レポート

山田 慎輔

今回は知人の改修工事のレポートをしたいと思います。彼は約10年間アトリエ系の設計事務所に勤務し、独立するに当たって自分の住居を改修し、SOHO（アトリエ兼住居）にする計画です。予算の関係上、解体工事と仕上工事の一部を自分でする事になりました。

幸い時間はたっぷりあったので、まず天井・壁・床の解体工事から始めました。床を解体し、水廻りの配管ルートを確認し（今回は水廻りの位置も変更しました）それから床の仕上高を決定しました。（1センチでも天井高を高くするため、スラブと床の仕上げ代はギリギリに設定しました。）

某有名デベロッパーの分譲マンションでしたので、躯体自身は良かったのですが、釘や打込の配管が一部露出していました。今回の改修ではコンクリート表しとなるので、それらを1ヶ所ずつ丁寧に処理していきました。また、天井のクロスは剥離作業が手間取りました。ビニルクロスは何層かで構成されていて、表面の層をはがしてもコンクリート面と接着している層はくっついたままなので、それをヘラで少しずつ丹念にはがしていきました。天井面だったので少し作業すると、腕がパンパンになり、とても時間の掛かる作業となりました。

まだ、内装工事の途中ですが、今後のペンキ塗り、左官塗りはセルフで行います。本来の仕事は設計の仕事ですが、現場の苦勞を知らずして良い設計というのは有り得ません。有名建築家で「実験住宅」という文言を耳にすることがありますが、まさに「実験住宅」です。私はお手伝いの形でこのイベントに参加してきましたが、まずは1ヶ月後の完成を目指し、一緒に汗を流したいと思います。



壁や天井下地を取り除いた後の様子



工事途中の様子



水廻り位置の変更も行なった

「住まいるカフェ」

～カフェのマスターとお客さんの様な関係で、住まいづくりについて語り合いたいと考えています～

＝複数設計者による無料プランニング提案実施中＝

住まいづくりで今の希望を叶え、将来を見据えた計画を立てるのはとても大切！
とは言え、現実の様々な事を整理し理想をカタチにするって、カンタンには出来ない・・・。

そんな時こそ、私たち専門家にご相談下さい。じっくりとお話を重ねながら、理想の住まいづくりのお手伝いを致します。新築・建替え・リフォーム等内容は問いません。ご相談・サービスの詳細は、お気軽に事務局までお問い合わせください。「あなたの理想の住まい」の話、聞かせて下さい。

去る6月6日よりこの日の前後3日間、唐招提寺を建立した鑑真和上の命日にちなみ境内の御影堂において、鑑真像と東山魁夷画伯の障壁画が公開されました。折りしも、金堂において昨年の秋頃に約10年間に及ぶ大修理を無事終え、境内全体も元の落ち着いた様子に戻り拝観には良い機会と思い足を延ばしてみました。

私自身は訪れたのは2回目なのですが、行く度に金堂のプロポーションの良さ、鐘楼や礼堂、講堂等の佇まいやそれらの建物の配置の巧みさに感心してしまいます。建物配置については、創建当時の伽藍配置とは現在は異なっている様ですが、他の名刹・古刹と呼ばれる寺院と比べて付かず離れずといった距離感が絶妙で、各々の道中によく手入れも行き届いていることもあり境内全体をくまなく歩きたく思わせるような空間感覚に捉われます。

また、所々にある塀は土壁なのですが朽ち果て行く在りのままの姿を見せ、却って質感のある添景となって趣を湛え、境内北東にある開山御廟への道中にある地面全体にびっしりと生えた苔を見ていると、先程の塀と相まって、ゆったりとした時の流れに包まれる様です。

奈良に都の置かれていた頃よりの面影を残す寺院として特に金堂や講堂は、当時まだ豊富であった樹齢の長い国内の木材をふんだんに使えた頃の意匠である為、平安や鎌倉時代以降の寺院には見られない無骨さや力強さがあり、それら建築物と境内の葉の付いた木々のつくる風

に流れる樹形やそれらが織り成す陰影とが、動と静の対にある存在のようでありながら、調和のある景観として記憶に残る寺院でした。



昨年修理を終えた、唐招提寺 金堂



開山御廟へ向かう道中の苔

◆ 編集後記

井戸田 精一 井戸田精一アトリエ

E-mail: ateleir@gaia.eonet.ne.jp
URL: <http://www.eonet.ne.jp/~ateleir>

辻 祐司 辻 建築設計室

E-mail: 0805tsuji-ken@ares.eonet.ne.jp

橋爪 恒平 atelier nest
-アトリエネスト-

E-mail: atelier_nest@ab.auone-net.jp

松村 泰徳 松村泰徳建築事務所

E-mail: contact@ym-arc.jp
URL: <http://www.ym-arc.jp>

山田 慎輔 山田慎輔建築設計室

E-mail: ya-mada1120@eco.ocn.ne.jp

今年6月に、石切駅近くの川でのたくさんのホテルが飛ぶようになりました。小学校での環境教育も朝日新聞で紹介され、約10年のボランティア活動が実を結びました。大阪のすべてをもっと暮らしやすいまちにしたいと思っています。(ペンネーム：ハコビ家)

毎日 暑い 厚い 熱い 日々が続いておりますが、如何お過ごしでしょうか？先月事務所を移転しまして、まだクーラーがありません。団扇を片手に、シャツいち(来客時は、ちゃんと着てますよ)となって、毎日を過ごしています。不思議なものでこれに慣れてしましますと、クーラーのある部屋に入った時とても幸せを感じてしまうんです。こんな処にも幸せがあったんですね。秋までこれでがんばります。

むかしに比べ暑くなったと言われる昨今、建築現場では日中の外での作業が多く、私の監視している現場でも職人さんをはじめ現場作業員の人達の熱中症予防に、とても気を払われています。片や、エアコンの苦手な我が家は、有るにも関わらず未だに使っていません。。。。こまめな水分補給と汗をよくかいて、毎年やり過ごしています。

親せき総出で今年も無事田植えを終え、あとは秋の収穫を待つばかりですが、ここ数年、水田で毎年大漁?!いえいえ、大量に出くわすのがジャンボタニシ(正式名: スクミリンゴガイ)という外来種でして、イネを食害する厄介者で駆除に手を焼いています。外来種による漁業被害が深刻ですが、農業界も例外ではないようです。

2回目の発行となりました。一般の方との媒体として情報を発信する目的で始めましたが、皆さんに興味を持って頂ける内容を目指して日々色々な事に耳を傾けたいと思います。「継続は才能である」と誰かに聞いた事がありますが、発行し続ける事が大事だと考えています。将来的にはネットワークを太くして、皆さんの感想なんかが開ければいいと思います。

「アーキテクトキャラバン」は、建築に携わる有志が集まり、その活動内容や住まいに関する情報などを、広く皆様へお届けできる場として、年4回季刊誌形式にて発行しております。また、住まいの相談会、勉強会なども企画して参ります。ご意見・ご感想・相談等御座いましたら、右記事務局までご連絡頂きます様、宜しくお願致します。

編集・発行 [アーキテクトキャラバン]

事務局／松村泰徳建築事務所
奈良県葛城市北花内261-5
TEL : 0745-69-5938
FAX : 0745-60-6524
E-mail: contact@ym-arc.jp
URL : <http://www.ym-arc.jp>

Copy right 2010 Architect Caravan All rights reserved